

■ スカウトのための安心・安全講座

「そなえよつねに共済」とは？

“ボーイスカウト活動”中のケガを補償する仕組みとして、2013年に文部科学省より認可された「そなえよつねに共済」。この制度は、冒険的で魅力的なスカウト活動を確保するために欠かせないものです。

毎年11月には、翌年度の『そなえよつねに共済／賠償責任保険 手引き』が全国に届けられていますので、指導者の方々には既にご承知のとおりです。

今回は、「そなえよつねに共済」についての理解を深めていただくために、特徴や補償内容をあらためてご紹介します。

1. 「そなえよつねに共済」の主な特徴

- “ボーイスカウト活動”に基づく傷害事故を総合的に補償します。
- 通常の活動のほか、指導者が同行していない活動（例：班キャンプなど）や、ベンチャーの単独活動時、活動場所への往復時も補償の対象となります。
- 日本国内はもちろん、海外での“ボーイスカウト活動”中の事故も補償の対象です。

2. 事故が発生した時の対応について



事故発生

- ① 事故発生時の状況を詳しく記録しましょう／事故が起こったときは、本人はもちろん、周囲も動揺してしまいがちです。後から事故概要を報告する必要もありますので、写真やメモでできるだけ詳しく記録を残しておくことが大切です。
- ② 日本連盟 安心・安全制度推進室まで電話やメールで速やかに連絡しましょう／TEL: 03-5652-2945 E-mail: kyosai@scout.or.jp
- ③ 「事故発生状況受付簿」が送られるので、事故の報告をしましょう／報告の際、事前に準備した活動計画書及び参加者名簿が必要です。

3. 「そなえよつねに共済」の補償内容

補償項目	概要
死亡補償（死亡共済金）	“ボーイスカウト活動”中に、不慮の事故により死亡したとき
後遺障害補償（後遺障害共済金）	“ボーイスカウト活動”中に、不慮の事故により後遺障害を被ったとき
入院補償（入院共済金）	“ボーイスカウト活動”中に、不慮の事故により傷害を被り、入院したとき
手術補償（手術共済金）	“ボーイスカウト活動”中に、不慮の事故により傷害を被り、所定の手術を受けたとき
通院補償（通院共済金）	“ボーイスカウト活動”中に、不慮の事故により傷害を被り、通院または往診を受けたとき

4. 補償の対象とならない事例（一部）

- 被共済者の故意、または重大な過失によるもの
- 専用道具を用いた山岳登山、リュージュ等や航空機の操縦、スカイダイビング、ハングライダー、超軽量動力機やジャイロプレーンの搭乗、その他これらに類する危険な行動を行っている間に生じた事故
- 食中毒（細菌性、アレルギー性等の要因を問わない）

今夏は、ジャンボリーサマーを中心に活発なスカウト活動が行われましたが、久々の野外活動でマダニやハチ等による虫刺されも多く報告されています（8/22現在 全事故報告の25%）。スカウトのための「そなえよつねに共済」を活用しながら、楽しいボーイスカウト活動がより活発なものになるようご支援ください。

「そなえよつねに共済」のご質問やお問い合わせは、下記へお願いします。

✉ e-mail: kyosai@scout.or.jp

共済委員会

信仰奨励

隊長の話

真宗大谷派 町田 正照

集会の始まりやキャンプの朝、一日の始まりに皆さんはどんな話をされていますか。ボーイスカウト年代では、隊長とスカウトが直接に触れあえる機会はあまり多くないので、有効に活用していただきたいと思います。お話のテーマの一つとして、「ちかい」と「おきて」（年代によりやくそく）について、年代に合わせてお話をされておられると思います。その際には、信仰の話を含めていただくと、より効果的かと思います。

「ちかい」は、自分自身に対して行うものですが、これは神や仏などの絶対者との関連を結びとスカウト自身が約束するということです。「ちかい」の前置は信頼されるスカウトとなるように「ちかい」の三条を実行すると約束しています。そのうちの一つについてみていきましょう。

一、神（仏）と国とに誠を尽くしおきてを守ります

私たちは、知らず知らずのうちに自分に都合の良いように物ごとを考え、自己の利益だけを追求してしまいがちです。しかし、自分自身は、家族や学校（職場）、そして近隣の方々に支えられ、そして、住んでいる地域や生まれ育った故郷の環境に育まれ生きています。ひとりでは生きていくのではないと思うとき、自分を含むすべての世界の幸せについて考えることができるのです。

私たちの宗派では、常に仏のお心を鏡とし、私を育てている地域と多くの人々への思いを忘れないようにしてスカウトの「おきて」を守るよう教えています。あらゆる人々を等しく包み込むという仏のお心に触れたとき、自身の心の狭さを知り、慈悲に満ちた世界の実現とすべての世界の幸せを願い、自らが果たすべきこと（「おきて」の実践）を理解し行動できるように目指していくのです。

ついスカウトたちに「ちかい」と「おきて」の実践が大切だと話してしまっていますが、絶対者（神や仏）との関係も含めお話しいただくと良いと思います。

「ちかい」と「おきて」は宗教や信仰に大きく結びついています。指導者の皆さんが明確な信仰をもち、研鑽されることを願っております。